

# MITSUBISHI

三菱電機パッケージエアコン用  
ワイヤレスリモコン受光部  
PAR-SA9PA  
据付工事説明書

この説明書は三菱電機パッケージエアコン ワイヤレスリモコン受光部の据付工事について記載しております。よくお読みのうえ、正しく据付けてください。

## 1 安全のために必ず守ること

・据付工事は、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。  
誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

<b>△警告</b>	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
<b>△注意</b>	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋、家財などの損害に結びつくもの

・お読みになったあとは、室内ユニットに添付された取扱説明書などとともに、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。  
・お使いになる方は、取扱説明書などとともに、いつでも見られる所に保管し、移設・修理の際は工事される方に、又お使いになる方が変わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しください。

△警告	
据付けは、販売店または専門業者に依頼する。お客様自身で据付工事をされ不備があると、感電、火災等の原因になります。	据付工事は、この据付工事説明書に従い確実にこなす。据付けに不備があると、感電、火災等の原因になります。
据付けは、重量に十分に耐える所に確実にこなす。強度が不足している場合は、本機の落下により、ケガの原因になります。	電気工事は、電気工事士の資格がある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及び本説明書に従い施工する。電気回路容量不足や施工不備があると感電、火災等の原因になります。
改造、修理は絶対しない。改造したり、修理に不備があると感電、火災等の原因になります。修理はお買上げの販売店にご相談ください。	配線は所定のリモコンコードを使用して確実に接続し、端子接続部にリモコンコードの外力が伝わらないように固定する。接続や固定が不完全の場合は、発熱、火災等の原因になります。
お客様自身で移設はしない。据付けに不備があると感電、火災等の原因になります。お買上げの販売店または専門業者にご相談ください。	

△注意	
可燃性ガスの漏れる恐れのある場所へ据付けない。万一ガスが漏れたら本機の周囲に溜まると発火、爆発の原因になることがあります。	浴室、厨房など大量の湯気が発生する場所には据付けない。壁が結露するような場所は避けてください。感電、故障の原因になることがあります。
特殊環境には、使用しない。油（機械油を含む）、蒸気、硫化ガスなどの多い場所で使用しますと性能を著しく低下させたり、部品が破損したりする場合があります。	酸性、アルカリ性の溶液、特殊なスプレー等頻繁に使用すると破損の原因になります。感電、故障の原因になることがあります。
病院、通信事務所などに据付けられる場合は、ノイズに対する備えを充分に行なう。インバータ機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器等の影響による本機の誤作動や故障の原因になったり、本機側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え、人体の医療行為を妨げたり映像放送の乱れや雑音などの弊害の原因になることがあります。	基板を手や工具などで触ったり、ほこりを付着させない。火災、故障の原因になることがあります。
配線は張力がかからないように配線工事を行なう。断線したり、発熱、火災の原因になることがあります。	濡れた手でボタンを操作しない。感電、故障の原因になることがあります。
リモコンコード引き込み口を、パテで確実にシールする。露、水、ゴキブリ、虫等の侵入のため、感電、故障の原因になることがあります。	ボタンを先のとがった物で押さない。感電、故障の原因になることがあります。
本機を水洗いしない。感電、故障の原因になることがあります。	A C100VやA C200Vは絶対に印加しない。破壊、発火、火災の原因になることがあります。
本機を据付ける付近の温度が40℃以上、0℃以下になる場所、または直射日光のあたる場所には据付けない。変形、故障の原因になることがあります。	

## 2 部品確認

箱の中には、この説明書の他に次の部品が入っていますのでご確認ください。

1. ワイヤレスリモコン受光部 ..... 1
2. リモコンコード 5m ..... 1
3. 十字穴付きナベネジ M4 × 30 ..... 2
4. 木ネジ 4.1 × 16 ..... 2

## 3 据付方法

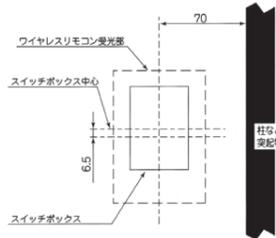
### 1. ワイヤレスリモコン受光部

ワイヤレスリモコン受光部は据付ける位置によって据付方法が異なります。

天井に据付ける時は「天井に据付ける場合」を、スイッチボックスまたは壁に据付ける時は「スイッチボックスまたは壁に据付ける場合」をご覧ください。

#### 「天井に据付ける場合」、 「スイッチボックスまたは壁に据付ける場合」 共通事項

- (1) 据付位置を決めてください。但し下記の事項を必ず守ってください。
  - ① ワイヤレスリモコン受光部は付属のリモコンコードで室内ユニットと接続しますが、リモコンコードが5mのため据付位置はリモコンコードが届く範囲で決めてください。
  - ② 天井、スイッチボックス、壁のいずれに据付ける場合でも、右図で示すスペースを確保してください。(間隔が十分でない、柱などの突起物により据付けられない場合があります)
  - ③ ワイヤレスリモコン受光部はスイッチボックスに据付けた時、右図のように下方に6.5mmずれますのでご注意ください。
  - ④ 下記の部品に必要な物は現地にて調達してください。
    - ・1個用スイッチボックス (JIS C8340)
    - ・薄銅電線管 25 (JIS C8305)
    - ・ロックナット、フッティング (JIS C8330)
    - ・モール (JIS C8425)
  - ⑤ 天井に据付ける場合の板厚の条件は9mm以上25mm以下の板に限りです。
  - ⑥ 天井面または壁面でワイヤレスリモコン操作部の信号が受信可能な位置に据付けてください。なお、ワイヤレスリモコン操作部の信号の届く範囲の目安はワイヤレスリモコン受光部の正面から45°の範囲で距離は約7mです。



- ⑦ ワイヤレスリモコン受光部を室内ユニットの機種に応じて下記の位置に据付けてください。



※天井据付けの場合、据付け穴φ50の穴加工が必要となります。

お願い ・室内ユニットの機種に応じてリモコンコードを接続させる位置が異なります。リモコンコードは延長することができませんので据付位置は十分に注意して決めてください。  
・蛍光灯（特にインバータタイプ）の近くにワイヤレスリモコン受光部を据付けますと、信号を受信できないことがありますので、ワイヤレスリモコン受光部据付け時、蛍光灯買換え時などには注意してください。

- ⑧ リモコンコードを電線管に通すときは下図のようにリモコンコードと呼び線をしっかりとつなげてください。

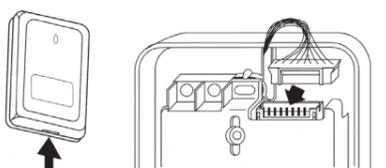


#### 天井に据付ける場合

- (2) 天井にワイヤレスリモコン受光部を据付ける場合の据付け穴を開けます。



- (3) リモコンコードをワイヤレスリモコン受光部のコネクタに接続させます。



矢印の方向にマイナスドライバーを差し込み回りますとカバーは外れます。

△注意 “パチッ”と音がするまで確実にはめ込んでください。確実にはめ込んでいない場合、落下の恐れがあります。

- (4) リモコンコードを室内ユニットへ引直し、室内ユニット制御基板上のコネクタ (C N90) に接続させます。室内ユニット制御基板の詳細図は「4 ペアナンバースイッチ設定方法」をご覧ください。

- (5) ワイヤレスリモコン受光部を天井に据付けます。



取り外す時はワイヤレスリモコン受光部を下へ引っぱって天井とワイヤレスリモコン受光部の間に指が入るようにスペースを確保してから天井据付け用金具をつかんで取り外してください。

- ・リモコンコードはフック部にしっかりと掛けてから天井に挿入してください。
- ・天井へ挿入する手順は天井据付け用金具のパネ部を天井に掛けてからワイヤレスリモコン受光部を下から押してください。

△注意 ・天井据付け用金具のパネ部を持ったまま天井に挿入しない。手をはさんでケガをする場合があります。  
・リモコンコード接続後、ワイヤレスリモコン受光部を天井よりぶら下げた状態にしない。コード断線、故障の原因となります。

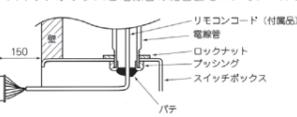
お願い ・ワイヤレスリモコン受光部を据付ける時、向きを確認してから据付けてください。

#### スイッチボックスまたは壁に据付ける場合

- (2) リモコンコードを室内ユニットへ引直し、室内ユニット制御基板上のコネクタ (C N90) に接続させます。室内ユニット制御基板の詳細図は「4 ペアナンバースイッチ設定方法」をご覧ください。

- (3) 露、水滴、ゴキブリ、虫等の侵入防止のためリモコンコード引込口をパテで確実にシールしてください。

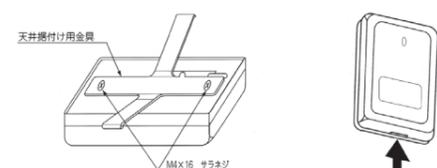
「スイッチボックスを使用する場合」  
・スイッチボックスと電線管の結合部をパテでシールします。



「壁に直接据付ける場合」  
・下ケースの切取った部分をパテでシールします。  
・リモコンコードを壁面で引直す場合はモールを使用して下さい。

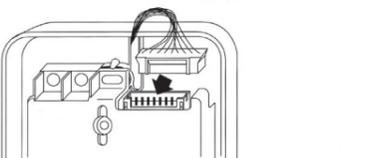


- (4) 天井据付け用金具を取り外します。  
・天井据付け用金具を固定しているM4×16サラネジを取り外してください。  
・M4×16サラネジは内側からナットで固定していますのでカバーを外しナットが回らない様に固定してから取り外してください。

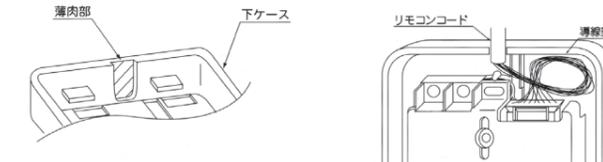


矢印の方向にマイナスドライバーを差し込み回りますとカバーは外れます。

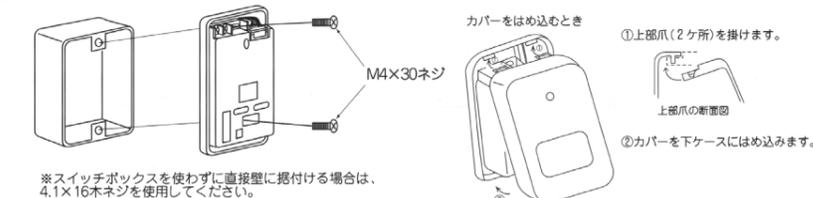
- (5) リモコンコードをワイヤレスリモコン受光部のコネクタに接続させます。



- (6) 壁などに直接ワイヤレスリモコン受光部を据付ける場合の配線穴を確認する。  
・下ケース内側の薄内部 (斜線部) をナイフ、ニッパーなどで切取ってください。  
・接続したリモコンコードをこの部分より出します。  
・下ケースの切り取った部分よりリモコンコードを通す時、導線部は下図の様にあいているスペースに収納してください。



- (7) ワイヤレスリモコン受光部をスイッチボックスまたは壁に据付けます。下ケースを先に据付けてからカバーをはめてください。



※スイッチボックスを使わずに直接壁に据付ける場合は、4.1×16木ネジを使用してください。

△注意 “パチッ”と音がするまで確実にはめ込んでください。確実にはめ込んでいない場合、落下の恐れがあります。

## 4 ペアナンバースイッチ設定方法

変更が必要な場合のみ設定してください。ワイヤレスリモコン操作部と室内ユニットのペアナンバを合わせます。合わせませんと操作できません。

- (1) 室内ユニットの設定

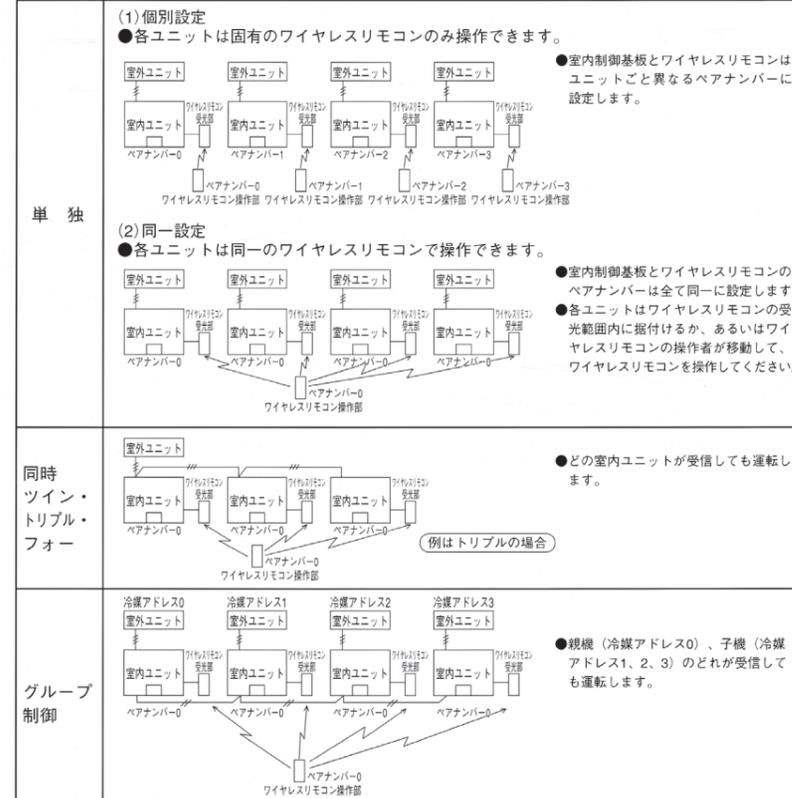
室内ユニット制御基板のジャンパー線 (J41, J42) を下表に従って切断することにより設定してください。

ペアナンバ設定パターン	リモコン操作部側ペアナンバ	室内制御基板側ジャンパー線切断箇所
A	0	切断せず
B	1	J41切断
C	2	J42切断
D	3~9	J41, J42切断

- (2) ワイヤレスリモコンの設定

ワイヤレスリモコン操作部の据付工事説明書を参照してください。

### ●設定例



- 5 試運転方法 ワイヤレスリモコンの据付説明書を参照してください。

- 6 機能選択 ワイヤレスリモコンの据付説明書を参照してください。

- 7 自己診断 ワイヤレスリモコンの据付説明書を参照してください。